

工事

窺工事

コン

十画書

見

本

現
書

目 次

1. 一般事項
 - 1) 総則
 - a. 適用範囲
 - b. 適用図
 - c. 参考図
 - d. 疑義、
 - e. 見本品
 - f. 専門業
 - 2) コンクリー
 - 3) 施工管理体制
2. 施工
 - 1) コンクリー
 - 2) コンクリー
 - 3) 生コン運搬
 - 4) 打設準備
 - 5) 打設順序
 - 6) 輸送が中断
 - 7) 養生
 - 8) コンクリー
3. 試験
 - 1) 供試体
 - 2) 試験回数
 - 3) 現場試験及
4. コンクリート
5. 記録写真
6. 安全管理
 - 1) 重機災害の
 - 2) 電動工具で
 - 3) 安全活動及
 - 4) 工程別安全
7. 添付書類一覧

見

本

1. 一般事項

1) 総則

a. 適用範囲

本施工計画書は、「」に関するコンクリート工事に適用する。

b. 適用図書

本工事は下記の設計図

- (1) 本工事の建築設計図
- (2) 現場説明書、質疑図
- (3) 公共建築工事標準仕

,

大臣官房官庁営繕部監修

c. 参考図書

- (1) 建築工事監理指針
- (2) 建築工事施工チェッ

営繕部監修

建築協会

d. 疑義、変更

- (1) 上記設計図書類に明
- 員)と十分協議のう
- (2) この計画書の内容に
- 生じた場合は、工事
- (3) 変更・修正内容に

た場合は、工事監理者(主任監督

以外の事項で重要と思われる問題が

関係者全員に周知させる。

e. 見本品・その他

本工事に使用する各材
員の承諾を受ける。

ブ、その他の資料等を提出し監督職

f. 専門業者への指示

本施工計画書の内容は

させ、施工品質の確保に努める。

2) コンクリート工事概要

a. 要求品質・設計仕様

普通コンクリート

仕様\部位	
設計基準強度 (Fc)	
呼び強度(SL)	
スランプ	
セメント量	
単位水量	
水セメント比	
空気量	
混和剤	
セメントの種類	

その他	一般階
n	24N/mm
n	30・33N/mm
	18cm 以下
以上	270kg/m3 以上
以下	185kg/m3 以下
下	51 %以下
	4.5 %
標準型	33N : 高性能 AE 減水剤
	30N : AE 減水剤標準型
	普通

b. 打設数量

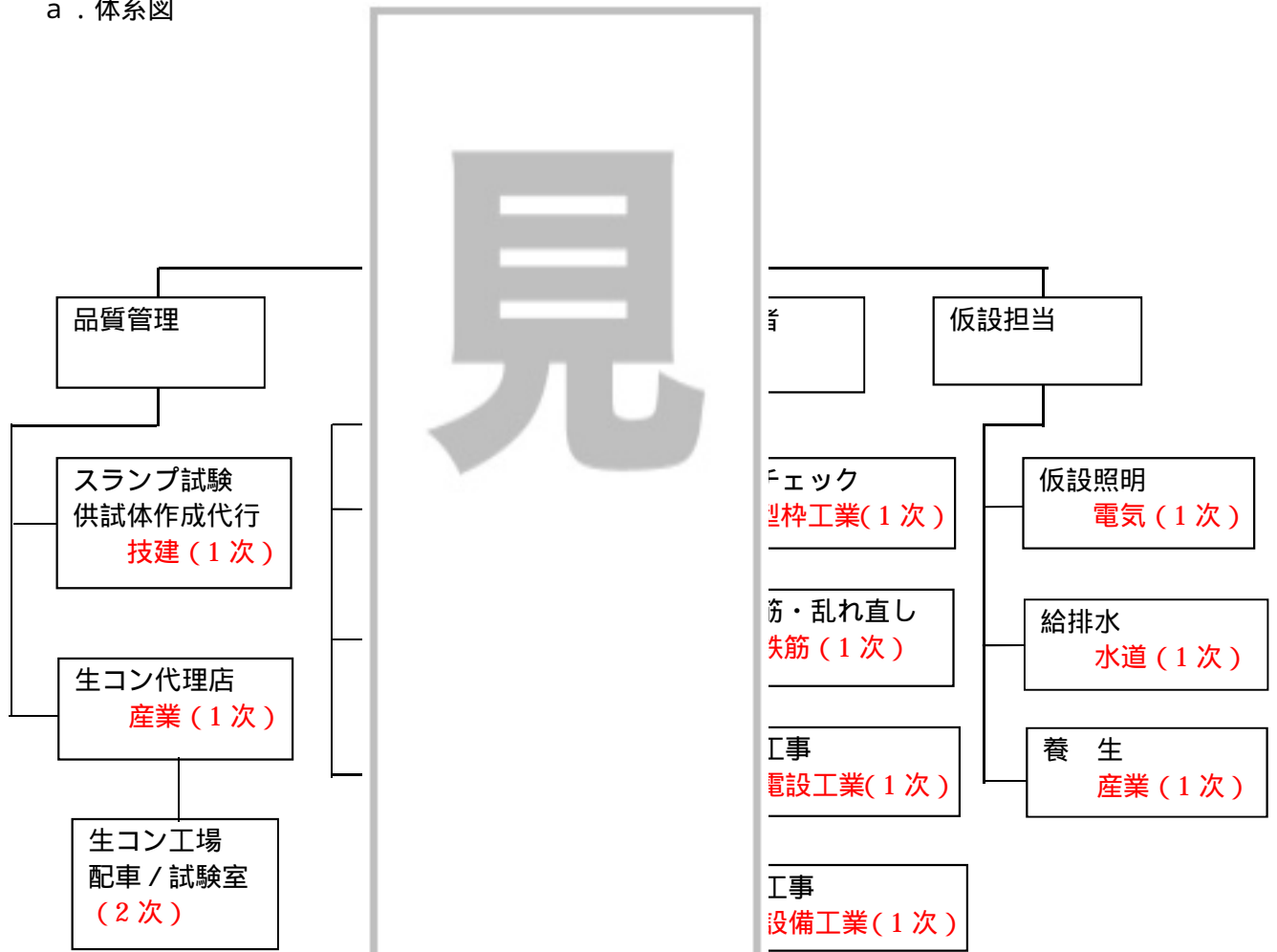
打設場所	㎡
捨てコンクリート	(
耐圧盤	
基礎・地中梁	
1F スラブ	
2F スラブ	
3F スラブ	
RF スラブ	
防水押さえ	
機械基礎	
土間その他	
温度補正值	
3N	
6N	
計	

Fc) + 試験値補正 3N + 温度補正

予定数量 (m3)	備考
20.6	
34.9	
181.1	
49.5	
309.5	
309.5	
309.5	
33.1	FC=18N
5.1	FC=18N
2.1	
1548.9	

3) 施工管理体制

a. 体系図



b. 協力会社

業種
生コンプラント
代理店
打設工事
ポンプ車
均し工事
試験

担当者	電話
	03-6666-8888
	03-555-8888
	03-3556-5454
	03-3636-9898
	03-8787-4141
	043-499-1212

c . 資格等

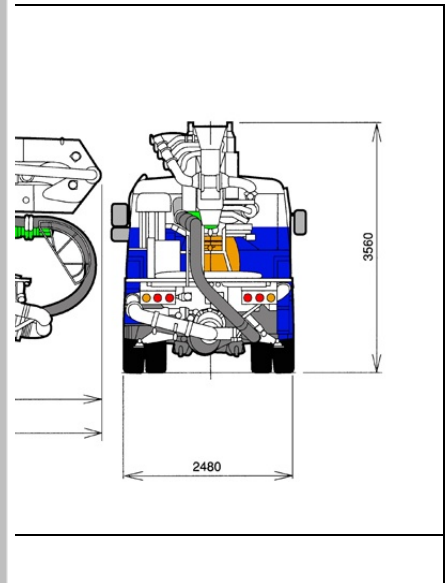
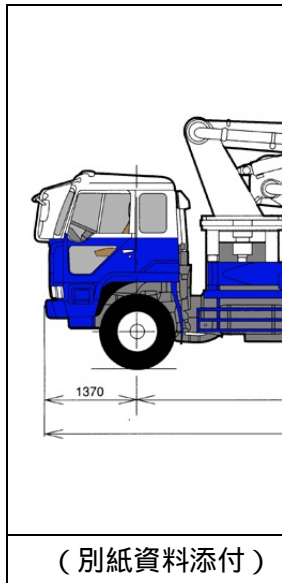
会社名	
建設(株)	
〃	
圧送(株)	
〃	
(株) 左官 工業所	

種別	資格証番号
職長教育	第 00000000 号
1t 以上	第 00000000 号
1 級	第 00000000 号
1t 未満	第 00000000 号
1 級	第 00000000 号

d . コンクリートポンプ車

石川島建機(株)	IPG
----------	-----

m^3/h	配管径 150
---------	---------



見

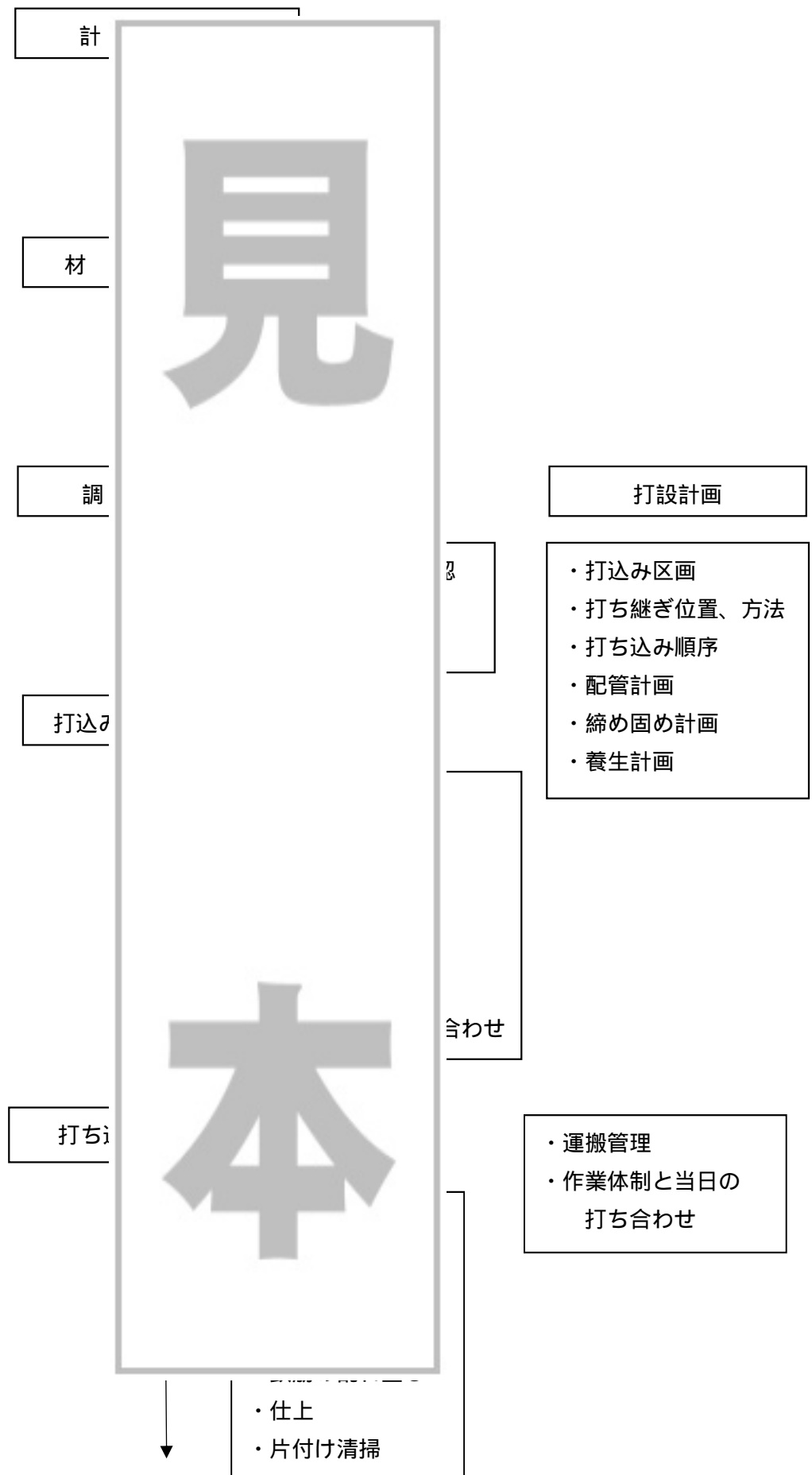
本

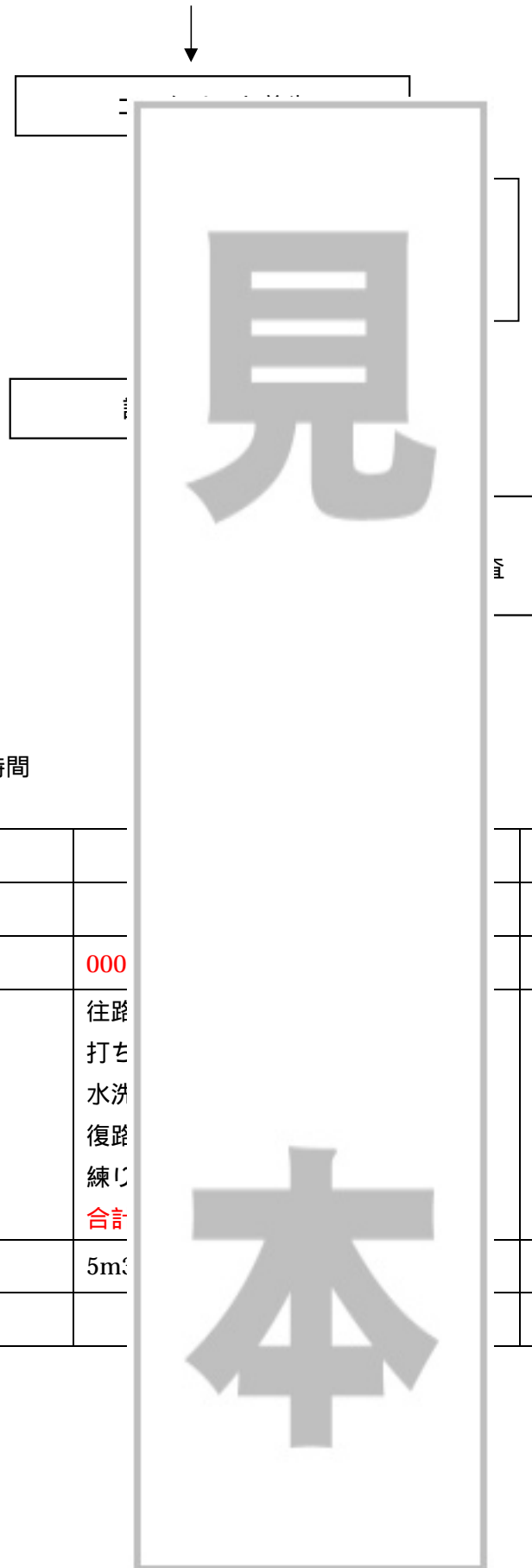
2. 施工

1) コンクリート工事確認事項

確認事項		記 事
施工環境条件	1) コンクリートの打設	型車の搬入が可能(道路通行許可)
	2) 運搬時間と打込時間	混り混ぜ開始から打込完了まで 90分以内(外気温 25℃ を越える場合)
	3) 運搬経路と打設時間	時期・時間帯による交通渋滞の有無
	4) 暑中・寒中コンクリート	養生剤や薬品、骨材散水の処置
	5) 養生	型枠の存置期間
	6) 天候及び気候	養生剤の塗布・養生剤の養生期間
配合条件	1) 試験値補正の試験値補正の適用	構造体コンクリートとその他コンクリート
	2) 温度補正	地域による補正期間の違いを確認
	3) セメント量、単体水セメント比	規定以外は工場実績とする
	4) 呼び強度	配合報告書により上記指定内容を遵守
	5) 試験練り	JIS規格外品を対象とする
	6) 圧縮強度試験	検査許可証の発行
ポンプ圧送	1) 予定数量及び作業時間	ポンプの送能力、作業所条件によりポンプを選定
	2) ポンプ車の操作	ポンプ車士による操作とする
	3) 打設計画	ポンプ車の作業半径、配管長さを検討ポンプ車、生コン車の配置計画ポンプ車の立ち込み高さ、速度の検討(型枠工)
	4) 洗い水	ポンプ車内排水設備、残コンの処理計画
	5) 交通誘導員	ポンプ車台数、交通量の状況

2) コンクリート工事施工フロー





3) 生コン運搬時間

工場名	
所在地	
TEL	000
運搬時間	往路 打ち 水洗 復路 練じ 合計
運搬能力	5m ³

JIS 表示許可工場
経路図別紙
65 分 ÷ 5 台 = 13 分間隔 60 分 ÷ 13 分 = 4.6 台/h 4.6 台 × 5 m ³ = 23 m ³ /h
5 台ローテーション

4) 打設準備

a. 打設計画と作業組織の確認

- (1) 打設計画に従って、
せる。
- (2) 作業組織を確認し、
- (3) コンクリート輸送管

工事関係者に計画の内容を周知さ

に定める。

がたたき要員を内外に配置する。

b. コンクリートポンプ車

- (1) コンクリートポンプ
- (2) コンクリート運搬車
る対策が講じられて
- (3) コンクリートポンプ
要があればあらかじめ
- (4) 圧送中に配管が誘導
認する。
- (5) 輸送管に変形や穴等
ていないことを確認

いる事を確認する。

・ポンプ車に接近し、荷下ろし出来

りなどで汚れないように養生し、必

ずび指示方法が適切であることを確

け着したコンクリートや異物が残っ

c. 打ち込み、締め固め機

打ち込み、締め固め、1
配置されている事。ま
機能することを確認す

に使用する機器、仮設材が段取りよく
その他故障等が無く、正常に作動、

d. 型枠

型枠内が十分清掃され

る型枠にはあらかじめ散水を行う。

e. 配筋

コンクリート打設によ

れている事を確認する。

f. 打ち込み物

打ち込む物に欠陥がな
また、固定方法が適切

5) 打設順序

a. 基礎・地中梁

建物中央付近の基礎が
天までとし、概ね2回
る。また、土間スラブ

を打設する。一回の打ち上がり高さは基礎
、便所下のピット外周は3回とす

見

本

既存コンクリート面を清掃（水洗い）し、隙間無く型枠を当てて締め固める。
高強度モルタル充填前には散水を行い、既存コンクリート面を湿潤しておく。
型枠上部に注入コンクリートを流し込み、高強度モルタルを流し込み、全面に行き渡
るよう留意する

3. 試験

1) 供試体

a. 一回の供試体は 12 本と

7
7
28
28

b. 供試体の採取は鉄筋コ
組分ずつ採取する。また

2) 試験回数

コンクリートの種類が異
行う。

3) 現場試験及び圧縮強度試 別紙添付の資料による他

a. 現場試験

生コンクリートの現場

b. 塩化物含有量試験

・塩化物測定器
カンタブ低濃度型大

c. 圧縮強度試験

試験機関 検査(株)試
(別紙資料添付)

所在地〒

脱型用は必要に応じて採取する。

3本
3本
3本
3本

適切な間隔を空けた運搬車より一
の日陰に設置した容器の中で行う。

13 毎及びその端数につき一回以上

業者により実施する。

番地の 5

見

本

4. コンクリート出来形

- (1) 型枠脱型後、各部分寸法を計測する。
- (2) 型枠脱型後計測不可部分については、断面図を添付し、現場試験状況を写真で確認する。
(X 方向 1 箇所、 Y 方向 1 箇所)

5. 記録写真

下記について撮影し記録する。

- a. スランプ、空気量、
- b. コンクリート強度試験
- c. 打設・締め固め状況
- d. 養生状況
- e. コンクリート出来形

6. 安全管理

労働安全衛生法、同規則及

1) 重機災害の防止

- ・機械の作業前点検
- ・保護具の徹底使用 (ヘルメット、安全帯、安全靴)
- ・旋回内立ち入り禁止の措置

2) 電動工具での事故防止

- ・始業前点検
- ・安全装置の確認
- ・感電、漏電事故の防止

3) 安全活動及び教育

- ・作業開始前に職長を中心とした安全活動 (作業手順、方法、合点)
- ・体操、朝礼、KYミーティング
- ・高齢者、年少者の作業
- ・経験の浅い作業員への指導
- ・他職種との密な連絡

4) 工程別安全チェックポイント

a. 運搬時

- ・日常点検の実施
- ・交通規則を厳守



と

現場試験状況

を守り、災害防止に努める。

- ・過積載の禁止
- ・一般市民、一般車を優先させる。

b . 作業時

- ・開口部を養生する。
- ・昇降路または昇降設
- ・作業通路の確保



7. 添付書類

- 1) 生コンプラント関係書類
 - a. 配合計画書
 - b. AE 減水剤・高性能 AE
 - c. 工場 JIS 表示許可証
 - d. 生コン運搬経路図

- 2) 試験機関関係書類
 - a. 会社概要
 - b. 業務案内
 - c. 組織図
 - d. 技術者名簿
 - e. 主要試験機器一覧
 - f. 案内図
 - g. 添付資料
 - 試験器検査証明書
 - 東京都試験機関 (A 類)
 - 廃棄物処理に関する委

- 3) コンクリートポンプ車資
 - ・実際に使用するポンプ車

- 4) 高強度モルタル資料
 - ・実際に使用する材料の力性能 試験成績書
 - 形 カタログ・パンフレ
 - 規格 JIS 表示許可証

- 5) 現場試験・圧縮強度試験
 - ・“レディーミクストコンクリート” 圧縮強度試験 JIS A 1108” まで

- 6) 圧縮強度試験機関資料
 - ・公的試験場であることを民間委託の場合は、試験
 - ・財団法人日本適合性認定
 - ・全国生コンクリート工業組合連合会の認定証を添付
 - ・全国生コンクリート工業組合連合会認定共同試験場定期検査における、当該年度の当該試験場

見

本

15” から、“コンクリートの圧縮強度”の写しを添付。

良い。(所在地情報を含む)

職員名簿を添付。

- ・試験機器の校正証明書を添付
- ・その他適した書類

7) 自主検査表

- a. コンクリート試験表

8) カタログ類

- a.
- b.
- c.

見

本